



京都老人福祉協会の理念

尊厳
信頼
先駆
共同

CONTENTS

- 訪問介護事業所の障害福祉サービス
- 地域包括ケアシステムについて
- うづらこども園の1日
- 施設献立ができるまで withきっちゃん「さくら」
- 編集後記



訪問介護事業所の障害福祉サービス

障害福祉サービスとは、身体や精神に障害のある方を対象に、必要な支援を行うサービスです。施設入所やグループホーム、就労に関する支援など、ニーズに合わせてさまざまなサービスがあります。

京都老人福祉協会の訪問介護事業所では障害福祉サービスと地域生活支援事業の指定を受けており、ホームヘルパーによる障害者の方への訪問サービスの支援を行っております。



訪問サービスについて

障害福祉サービスの訪問系サービスでは、障害のある方々が地域で暮らすことができるように、ホームヘルパーがご自宅へ訪問し支援を行っています。

その内容は、食事や入浴、排せつなどの身体的な支援、掃除、洗濯、買い物代行などの家事的な支援、ホームヘルパーと一緒に外出し余暇を楽しんだりする移動支援など、さまざまな支援を行っています。

ご利用される方は子どもから高齢の方まで、年齢層が幅広いです。

サービスを利用するには

障害福祉サービスを利用できるのは身体障害者、知的障害者、精神障害者（発達障害者を含む）、指定難病の患者の方が対象です。また、18歳以上の方は障害者、18歳未満の方は障害児に区分されますが、いずれも訪問系サービスを利用することが可能です。

市町村に申請をし、障害支援区分が認定されると障害福祉サービスを利用することができます。障害支援区分は1～6まであり、サービスによっては必要な区分が異なります。

京都老人福祉協会
障害福祉サービスを
実施している
訪問介護事業所一覧



東高瀬川センター
(伏見本庁・深草支所管轄地域)
〒612-8372
京都市伏見区北端町44-7
Tel 075-612-8023



春日丘センター
(醍醐支所管轄地域)
〒601-1344
京都市伏見区醍醐辰巳町12-1
Tel 075-575-2455

事業所によって対応可能な地域やサービスが異なります。詳細については各事業所へお気軽にご連絡ください。
※深草支所管轄地域では「さくらハウス七瀬川」がサービス提供しておりましたが、2023年度以降は「東高瀬川センター」で承ります。

どんな支援をしてもらえる？

身体介護

ご自宅内での食事、排せつ、入浴介助を行う支援です。
ご自宅での入浴や食事をおひとりですることが難しいなど、ヘルパーが訪問し支援をさせていただきます。

家事援助

掃除、洗濯、調理、買物代行などをヘルパーが行う支援です。
ご自宅の掃除や、買い物が難しいなど、ヘルパーが訪問し掃除をしたり、代わりに買い物を行うなどの支援をさせていただきます。

通院介助

病院受診へ同行する支援です。
おひとりで病院へ行くのが不安な方や、院内で介助が必要な方に対しての支援です。

同行援護

視覚障害がある方に対して外出同行や代筆などをする支援です。
屋外での移動中、段差などの危険がないよう、安全面に配慮し声掛け、同行を行っています。

行動援護

知的障害や精神障害があり、おひとりで行動する事が難しく、常時介助を必要とされる方に対して、外出やご自宅内での身体的な介助をする支援です。
ヘルパーと一緒に外出をしたり、ご自宅で過ごす際の見守りやサポートをします。

うづらこども園の1日

うづらこども園での過ごし方を紹介します！
年齢によって1日の流れはさまざまです。今回は4歳の子を例に紹介します。

7:00～ 順次登園・室内あそび

8:45～ 園庭あそび

10:00～ 朝の会

10:30～ 活動

11:30～ 昼食

12:40～ ごちそうさまの挨拶

絵本

13:00 室内 / 園庭あそび

15:00 おやつ

手洗い・うがいをしっかりと!!

15:30 帰りの会

16:00 順次降園

朝の会では
お名前呼びや
歌を歌います!

日々の活動では
壁面製作や絵の具、
夏はめたくりをして楽しむ
子どもたちです!

ラーメンやカレーの日は
おかわりがすぐに無くなります!
みんな食欲旺盛です!

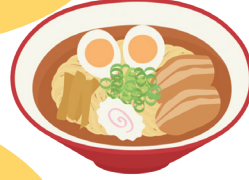
園庭あそびでは、
子どもたち自身で線を引いて
ドッチボールをして遊んでいます!
一つ上の学年の園児も交じり、
負けじと戦っています!

園外保育について...

月に一回、バスに乗って山登りや公園に出かけます。
山登りの道中では急な坂道に挑戦したり、
頂上でおにぎりを食べたりと普段味わえない
刺激のある体験をしながら、
目標に向かって頑張る事が出来ます!

★リトミック★

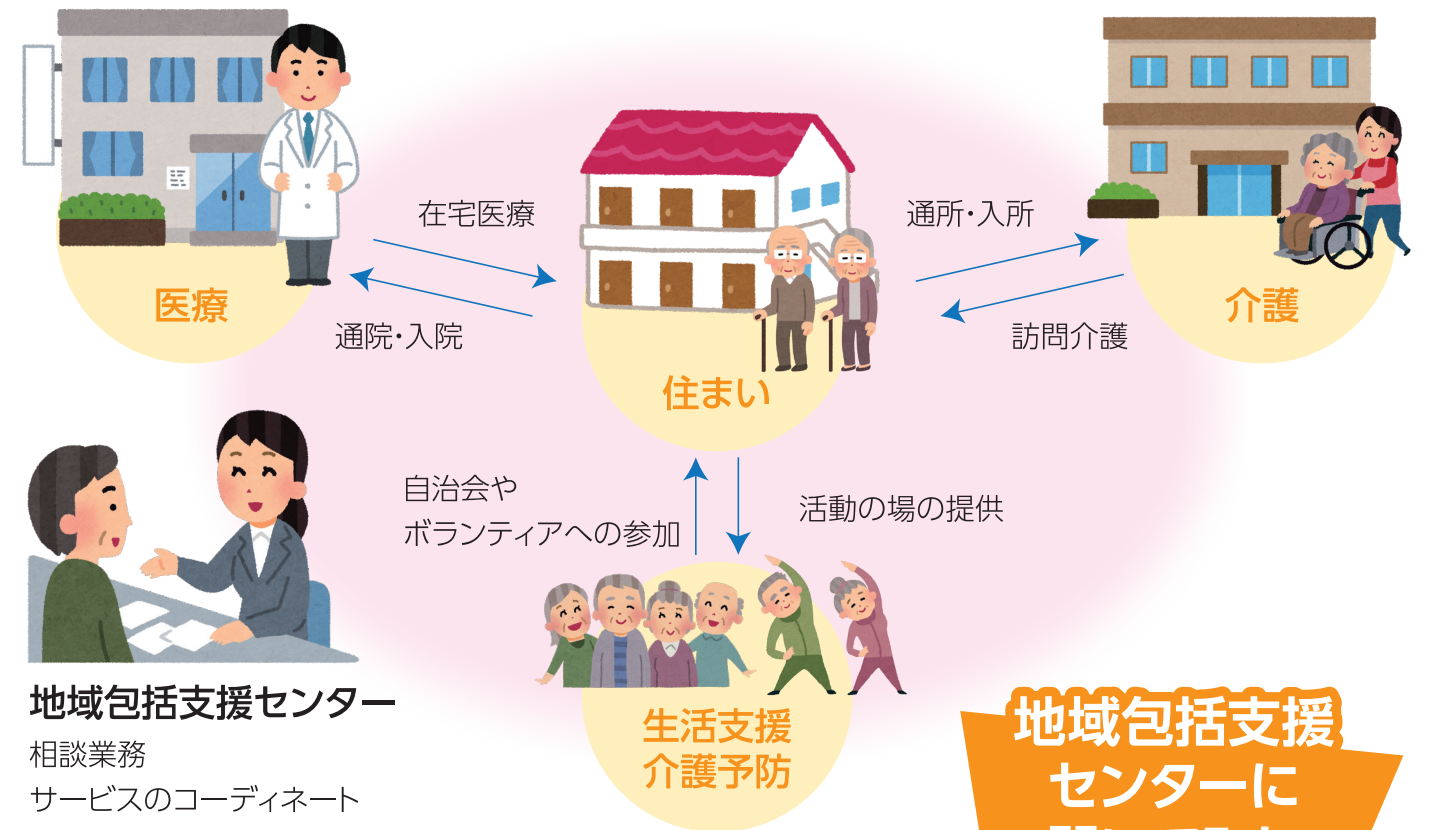
スキップやギャロップなど、ピアノのリズム
に合わせて身体を動かします。
日々の日課なので、バランス感覚も
とれてきます!



地域包括 ケアシステム について

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目処に、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が課題となっています。

高齢者の方が住み慣れた地域で生活し続けるためには、高齢者個々の状況やその変化に応じて、適切なサービスや多様な支援の提供が必要です。保険・福祉・医療の専門職が互いに連携し、地域住民によるボランティアなど地域資源をネットワーク化し、高齢者の方を継続的かつ包括的にケアしていくことが目標です。



どのようなことを意識して取り組んでいますか?

地域包括ケアの主体は地域であり、地域ごとに取り組みも変わります。高齢者の方が住み慣れた地域で過ごしていけるように、認知症などの地域課題について、地域ケア会議を中心に地域の方や関係機関と一緒に考えていく地域ネットワーク作りは常に意識しています。コロナ禍において対面や大人数での会議は難しい状況でしたが、徐々に元に戻していければと思います。

今後の課題は何ですか?

地域包括ケアについて、地域においてはまだまだ周知が不十分であり、地域包括支援センターの認知度は広がって来ているものの高くありません。地域の多世代の方や学校・店舗・企業などのさまざまな方へ地域包括ケアを知っていただくために、地域包括支援センターの取り組みや介護予防・認知症などについて、センターの機関紙やSNSで発信を行い、より多くの方に知っていただくことだと感じています。

施設献立ができるまで with きっちゃん「さくら」

今回はきっちゃん「さくら」の施設献立ができるまでの流れを紹介したいと思います。
献立は給食管理ソフトを使用し、年齢・性別・運動量を基に設定した目標値に合わせています。

✿ 献立のたてかた

- ①メイン（主菜）
⇒肉、魚、卵などを振り分ける
- ②調理法
⇒揚げ物、煮物、炒め物、蒸し物
- ③味付け
⇒和風、洋風、中華
- ④メイン（主菜）の付け合わせ
⇒彩りと食感、メインを引き立てる箸休め
- ⑤小鉢（副菜）
⇒メインとの相性をみる

- ⑥汁物
⇒メインの味付けと同じにならないようにする
- ⑦主食
⇒白ご飯がベースだが、味ごはんもいれる



創立記念祭



八坂弁当

✿ 献立をたてる時のポイント

- 旬の食材を使用する
季節の食材を使用することで、季節を感じてもらおうと思っています。
- 同じ調理法・献立に偏らない
揚げ物、煮物、和え物など、一日を通してさまざまな調理法を組み合わせ、同じメニューが多くないか確認しています。
- コストがかかりすぎていないか
昨今の食材費高騰の中でも値上げを行わずに提供していくために、食材や仕入れ方法に工夫をしています。また、自然災害による食材の高騰の場合は食材の変更もおこなっています。

きっちゃん「さくら」ではご利用者様に食事の時間を楽しみだと思ってもらえるように食事を作っています。季節ごとの行事食や旬の食材、毎月のお楽しみメニューを入れることで、食事にメリハリをつけるように工夫しています。また、食べやすい食形態で提供を心がけています。

熱中症や食中毒に注意を!!

熱中症や食中毒が増加する時期です。熱中症は自分でも気付かないことがあります。室内だからといって安心せずに、扇風機やエアコンで温度調整を行ない、こまめな水分補給を行なってください。食中毒予防の3原則 食中毒菌を「付けない、増やさない、やっつける」を忘れずに暑い夏を安全に過ごしましょう。



きっちゃん「さくら」
イメージキャラ
さくらちゃん

編集後記

58号から障害福祉や保育部門に関する記事を積極的に取り上げておりますがいかがでしょうか。今後も私たちは、読者の皆様のお役に立つ情報を発信して参りたいと考えております。引き続きのご愛読を宜しくお願い致します。蒸し暑い季節が続きますので、体調を崩されませんようお身体ご自愛くださいませ。

広報委員 岡本